



井原中束にて

敬老の日に寄せて

広島市長 松井一實

(祝賀会用の原稿掲載)

祝辞

皆様には、今日の良き日を元気に迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、日頃から本市の高齢者施策の推進にご理解、御協力賜り、心からお礼申し上げます。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大という国難に直面し、日常生活や経済活動に大きな支障が生じていますが、市民の皆様におかれましては、イベントの延期・中止や外出の自粛、三密の環境の回避など、感染拡大防止に向けた取組について御理解・御協力を頂いており、この場をお借りして深くお礼を申し上げますとともに、今後も、引き続き、感染拡大防止に向けて、御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

さて、全国的に少子高齢化が進展していますが、本市でも、今後、高齢者人口及び高齢化率の上昇が続く一方で、担い手となる生産年齢人口は減少していくことが見込まれています。また、こうした中で、ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加などにより、高齢者支援に対するニーズは複雑かつ多様化していくことも予想されます。

「このような社会において高齢者一人一人が、生き生きと、住み慣れた地域で住民相互の支え合いの下、安心して暮らし続けることができるようにしていく」

めには、より一層、高齢者自身の健康づくりなどの「自助」や地域における支え合いなどの「共助」が重要となることから、本市においては、地域高齢者交流サロン運営事業や高齢者いきいき活動ポイント事業などの各種施策に積極的に取り組んでいます。

特に、高齢者いきいき活動ポイント事業については、健康づくり・介護予防や、地域団体の活動の活性化に資する効果も認められることから、本年九月から、対象を六十五歳までに拡大するなど、事業を更に充実させたいと考えています。

加えて、本市では、全ての市民が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合い、住民が住み慣れた地域で持続的に生活できる「地域共生社会」を実現するための取組を進めているところです。

「このような本市の取組を進める上で、豊富な知識と経験を持っておられる皆様は、地域の財産であり、誰もが生きがいを持って安らかな日常生活を送ることができると期待を込めて、引き続き、お力添えを頂きたいと考えています。」

終わりに、皆様在今后も健康に留意され、お元気で幸せな日々を送られることをお祈りいたします。お祝いの言葉とさせていただきます。

## コロナ禍の活動を振り返る

広島市白木地域包括センター  
センター長 真多 えり

平素より、当センターの運営委員会に多大なるご厚情とご支援を賜り、この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、毎日メディアを賑わせている「新型コロナウィルス」ですが、当センターにおいても大きな影響を受けております。会場に行くと、地域の方に会えるサロン活動やいきいき百歳体操・顔馴染みの顔が揃う祭り・栄養に関する勉強会の調理実習等、声を出して笑うこと、顔を合わせて会話すること、当たり前の日常を送ることが難しくなっています。介護予防教室で推奨してきたことと真反対の生活様式が求められています。

そこで、今年度の当センターの活動は、「感染拡大予防」を最優先に考え運営することとしました。接触機会を極力減少するために厚労省のマスク配布は郵便ポストに投函し、筋力減少予防のために体操を載せた広報誌を発行する等、例年とは異なる活動でした。当センター主催の研修会は縮小し、公民館や各団体との合同企画を中心に開催し、世間の動向を鑑み、現状、我慢を強いられております。

当センターは、広島市から事業を受託して運営しております。広島市の高齢者施策プランを元に、運営事業計画をさだめておりますが、地域の実情に応じた活動が求められています。

事業の大きな柱として、現在は幅広く

られている「いきいき百歳体操」があります。事業開始の五年前、担当者であった私は、人の集う場所に行つて、サロン活動の喜びや悩みについて聞き取ることで、事業推進の手立てを模索してまいりました。そんな中、白木町にはお寺が多くあり、そこでは、サロン活動と重なるような人々の集まりがあることに着目しました。ただ、安易な考えで宗教の集まりを利用することには抵抗感もあり、当時の私は、行動に移せずにいました。

しかし、今年度、妙園寺様より秋季彼岸会にて、本堂でお話しする機会をいただきました。「安心」をテーマに、認知症理解と新型コロナウィルスについて話をさせていただきました。その後、住職様より次のような総評をいただきました。

「認知症を患った本人が最も辛い。認知症を正しく理解しないと支援できない。また、新型コロナウィルスも感染者ゼロは難しい。しかし、未知のウィルスに対する偏見は、甚だしく罹患者に対する風評被害が起きる。日本古来の許す文化を裁く文化が邪魔をする。(誰しも感染するリスクを持っている)という許し合う心を持ち、万が一、感染が発生した場合を想定した対策が求められている。」

お寺のような既存の集まる場所で当センターの活動を融合したいと夢描いていた事に一歩近づくことができました。コロナ禍で様々な活動制約がありますが、新たな変化に柔軟に対応できるよう、職員一同、前を向いて励んでいきます。今後ともご指導・ご鞭撻の程 よろしくお願い申し上げます。

## 新型コロナウィルス感染症の影響に対する地域福祉関係団体応援金の支給について

今般、井原地区社協他十二団体が、広島市社協より、今後、活動を再開・継続していく応援金十万円を支給されました。(コロナ応援金)

【団体名】

- 井原地区社会福祉協議会
- 井原学区老人クラブ連合会
- 井原地区女性会
- 市立井原小学校PTA
- 井原学区子ども会育成協議会
- 井原学区自主防災会連合会
- 井原学区公衆衛生推進協議会
- 井原学区体育協会
- 井原地区青少年健全育成連絡協議会
- 井原地区母子寡婦福祉会
- 井原地区町内会自治会連絡協議会
- 井原学区防犯組合
- ふくろう塾

是非、各団体で、十分話し合い、有効な活用をしていただきますようお願いいたします。

活用例

- 感染症対策のマスク・消毒液購入
- 新しい生活様式対応のIT環境整備
- 応援金趣旨に反する使用が認められた場合、返金を求める場合もあります。

## お知らせ

1. ひつり暮らし高齢者の集いの中止のお知らせ

本年度のひつり暮らし高齢者の集いは新型コロナウィルスの拡大防止のため中止とさせていただきます。

2. 自走用(介助兼用)車椅子の貸出

井原地区社協は、車椅子を所有しており貸し出しを受けております。足等の「不自由な方が、旅行で利用されたい」とか、怪我をして緊急に車椅子が必要等気軽に連絡をください。

連絡先 TEL(898)2473  
飯田まで

